



## アサガオの花は、どうしてすぐしぼむの

### アサガオの花の花びらが、うすいから

アサガオの花は、つぼみのときは、ぎゅっと丸められて、外側をきちんと緑のカバーでおおわれ、保護されています。でも、花が咲く時期がくると、花は、むき出しになってしまいます。アサガオのうすい花びらは、広い表面から、水分が蒸発していきます。とくに、夏の強い日の光をあびると、根から吸い上げられてくる水分より、蒸発する水分のほうが多くなります。そのため、水気がなくなった花は、しぼんでくるのです。

### 照りつける日光がなければ、長く咲いている

直射日光があたる所の花のほうが、ほかの所の花より早く、水気がなくなって、しぼんでしまいます。しかし、雨の日や、すずしくて、くもった日などは、昼近くまで、花が咲いています。また、秋に近いほど、アサガオの花は、午後でも花がしぼまずに咲いていることが多くなります。

夏の朝、朝露にぬれて、むらさき色の花をつけるツククサも、花がすぐ小さくしぼんでしまいます。アサガオと同じように、花びらがうすくて、水分が蒸発してしまうためです。くもった日などは、昼近くまで、しげみの中に、むらさき色の花が目立ちます。花びらがうすい花は、照りつける日光が、苦手なようです。（監修・矢野 亮）

